

令和 6 年度 土壌貯蔵施設等の整備・管理等に関する検討委員会(第 4 回)
議事要旨

1. 日 時：令和 7 年 2 月 5 日（水）

2. 場 所：書面開催

3. 出席委員：遠藤委員長、川瀬委員、清委員、谷委員、登坂委員

4. 議 題

（1）放射能濃度測定装置の校正に係る不正への対応について

5. 要 旨

大熊⑤工区で発生した地下水等の放射能濃度連続測定装置の校正に係る不正への対応に関して、工区別（双葉②工区及び双葉③工区）の校正方法・今後の対応に係る資料を委員に送付し、意見・助言等をいただいた。

主な意見・助言等は以下のとおり。

- ・ 双葉②工区について、証明書のない線源を用いて換算係数を導出していることが懸念点であるものの、校正方法は妥当と考える。双葉③工区の校正については、線源自体に懸念があり、証明書のある線源（溶液線源）を使用することが望ましい。
- ・ 校正に用いられていた線源について線源証明書が無いという懸念点があるものの、測定値の信頼性を一定程度担保するための方策はとられている。
- ・ より信頼性のある測定とするために、今後は線源証明書のある線源（コイン線源、溶液線源）を使用した校正・機能確認を実施することが重要。
- ・ 計量法に定める登録事業者による線源証明書があることが、計測結果の信頼性の観点から好ましい。

以上